

地域で共に生きる社会を目指して

辻本 角義 (かたつむり21参与)



私はこれまで、大阪府で障害者施策に携わってきたこともあり、今改めて、障害者の方々地域で生活していくことについて考えています。

障害者支援費制度から自立支援法、障害者総合福祉法へと、制度が見直されていく中で、障害者施設から地域へ、家庭から地域へと障害者の地域移行が声高々に唱えられています。しかし、当事者や家族、事業者、市民、行政など、それぞれの思いや考えによって、描いている地域移行の姿が違っている現実があるように思えます。

一口に「障害者」と言っても、本人や家族の事情などで施設に入所されている方、地域で生活されている方、既に自立されている方、より一層の援護を要する方など様々です。また、皆さんもご存じのように、障害の種別も大きく分けて身体、知的、精神があり、その身体にも、肢体、聴覚、視覚、内部疾患等があり、さらに重複障害がある方など、その程度も軽い方から重い方まで様々なケースがあります。

また、障害福祉の地域移行について、施設入所者の方を対象にアンケートをしたところ、多くの方が地域移行を希望していますが、保護者の方々の多くは、施設入所継続を希望されています。これは、保護者は障害者が現実の地域社会で生きていく困難さを厳しく見ておられるからだと思います。

障害者同士であっても、障害の種別によってお互いを理解し合えないことも多い現状の中で、一般の市民の方々が、これら障害がある人たちのことを、どれだけ理解できるのだろうかと思ってしまう。そのような中で、障害者の地域移行を進めるには、市民、地域住民の理解が何よりも重要です。そのためには、障害者に限らず、高齢者や子供達も含め困っている人、助けが必要な方々を地域住民が支えあうコミュニティの形成が必要です。

様々な境遇の人が共に生き、普通に暮らせる社会こそが真の成熟社会だと思います。人は一人では生きていけ

ないことは、みんなが知っていますが、現実には障害者と出会ったとき、一歩が踏み出せない人が多いのが現状でしょう。障害者との出会いが、最初は哀れみや同情から始まってもいいと思いますが、その後のふれあいを通してお互いを認め合うまでに深まれば、共に生きる社会づくりに一歩近づくはずですよ。

障害者施設を含め、様々な障害者サービスの事業所があり、行政やこれらの事業に携わっている人々は頑張っておられます。しかし、それは仕事としてであり、市民の理解を得るための働きにまで達していないところが問題です。

そのような中「かたつむり21」や「SG」の活動など、ボランティアの果たす役割には非常に大きいものがあります。このような活動に関わり、参加する人たちが増えることで、障害者を差別しない、差別させない社会環境を築き上げることができます。

そのためにも、これまで続けてこられた「かたつむり21」や「SG」活動がこれからも続いていくよう願うとともに、メンバーの広がりにも期待するものです。私も「かたつむり21」のメンバーとして、微力ながら、あらゆる機会を通じて応援していくつもりです。今後とも障害のある人もない人も共に、人が「人間（ひと）」として、普通に暮らせる自立支援社会づくりを目指して皆で力を合わせたいと思います。皆さんよろしくお願いいたします。

(大阪府社会福祉協議会 施設福祉部長)

会費納入のお願い SGへの支援や本会の運営は、会費に依存しています。滞納されている方は、分割でも結構ですから納入のほどお願いいたします。

SG後援会「かたつむり21」

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-12

TOWAローゼンビル長堀403

電話・FAX：06-6264-1919

事務局 Mail：qmdtj092@ybb.ne.jp

HP：http://katatsumuri21.jimdo.com/

2011 エコ・やるキャンプ 行ってきました

今年はエコ。こんなご時世、出来ることは何でも 自分でやってみようと言うことで...



2011年8月26日～28日

猪名川キャンプ場（兵庫県川西市）

2011 SG Summer Camp キャンパー感想文 関岡 勇人（堺支援学校高等部1年）

今回初めてSGのサマーキャンプに参加した。バスがだんだんキャンプ場に近づくにつれ、天候が怪しくなり雨が降り出した。でも、何とか着くころには小降りになり難を逃れた。そして1日目が始まり、大食堂で、中学以来久しぶりに母さんの弁当を食べた。僕たちが寝るところもこの食堂の机を片付け、布団を敷いて寝るのだ。

・・・山の天気は変わりやすいものだ。晩御飯の前に突然雷が発生。ただでさえ雷が嫌いな僕は、食堂に身を隠して震えていたが何とか治まった。このキャンプではご飯はみんなで作る。晩ご飯は生まれて初めて食べる「串カツ」だった。僕も手伝い、鶏肉やピーマン、シイタケなどに小麦粉をまぶし、とき卵を付け、油で揚げた。初めてだったのでおいしかった。

夜は、チャペルで「風船テニス」をした。糸の付いた風船を相手陣地にうちわであおぐゲームだ。最初は僕らのチームが勢いが良かったが、相手のチームも盛り返してきて互角の試合となった。ギリギリで勝った。ヒヤヒヤしておもしろかった。本当はこの後、花火をする予定だったが、雨が降ったためできなかった。

2日目の朝、6時に起きた。朝ご飯を食べてからみんなでクッキーとせんべいを作った。昼からは川遊び。水鉄砲で掛け合いをしたりしておもしろかった。雷も鳴らなかったので安心した。

晩御飯の準備をしていると、また雷が発生。2日間も連続で鳴るとは思わなかった。またもや食堂に身を隠す羽目となった。夜にはグラウンドでキャンプファイヤーをする予定だったが、雨のため教会でやった。火はよく燃えたが、中が煙で充満し、周りの人たちの顔が見えなくなるくらいになり、数分間中断した。

そして雷は鳴らないでくれと願いながら眠りについた。3日目の帰り際に、SGの人たちから手作りのメッセージカードをもらって嬉しかった。来年も行きたいと思った。スタッフの皆さん、ありがとうございました。

・参加者：キャンパー／13名、スタッフ・リーダー／54名（内、かたつむり21 8名）

しっかり向き合えば気持ちは共有できる



元吉 真紀子（カウンセラー）

私は今回のキャンプに参加し、本当によかったと思います。初めは、初めて会う私に子どもたちは打ち解けてくれるのか不安でしたが、会った瞬間から、まるで今までに話したことあるんちゃうかという程、話したり笑ったりと…。不安はあっという間に消えました。

キャンプでは、お菓子作りや川遊びなどをしました。いかに子ども主体でしてもらうか、私たちの想いが重要となりました。初めは子どもたちにやってもらうという感覚だったのですが、関わっていくうちに、それは違

ことに気がきました。子どもたちは自ら「やりたい」という気持ちをもっており、それを言葉で伝えたり、顔の表情や態度で表したりと多くの気持ちを私たちにぶつけてくれました。

実際のところ、子どもたちの想いに私は応えることができたかどうか心残りもあります。しかしながら、しっかりと相手と向き合えば気持ちを共有できるということを学びました。

たった3日間でしたが、子どもたちから、相手に伝えることの大切さや相手の気持ちになって物事を考えなければ何も感じ取れないことなどを学びました。短い間でしたが参加していたみんなから笑いを一杯もらい、とても楽しかったです。（大阪保育福祉専門学校学生）

SGキャンプ、いい経験になりました！



屋我 祐一朗 (カウンセラー)

今回カウンセラーとして初めて参加させて頂き、今まで経験したことのない体験をたくさんすることができ、本当に充実した3日間を過ごすことができ良かったです。

プログラムも盛りだくさんで、キャンパーの子どもたちの笑顔にもたくさん出会いました。そんな中で私が一番印象に残っているのは、やはり川遊びです！川に行く前からキャンパーの子どもたちがキラキラ目を輝かせていたのを覚えています。実際川に入ると、みんな最高の笑顔を見せてくれました。またキャンパーだけではなく、カウンセラーやプロパティ、食堂の人たちなど全員が笑顔になったプログラムでした。

他にも皆で力をあわせて作った沢山の料理。なかでも串カツは本当に美味しかったです。お土産に手づくりクッキーも作りました。夜のキャンプファイヤーでは、今年で卒業する子どもたちが火をつけた時はとても感慨深いものがありました。

来年のキャンプにも是非参加させて頂きたいと思います。ありがとうございました。(藤の里保育園 保育士)



会員だより①

現在、インディアナ州です

森 秀樹



35年ほど前、SGキャンプを含め、色々な行事に参画しましたが、大学卒業後、就職が東京の会社となり、それ以来ご無沙汰しております。会社での勤務地も国内外を転々とし、現在は米国インディアナ州におります。

会社の方で、4~5年前から米国工場立ち上げの計画があり、設計段階から参画していた関係で、2010年6月に工場が完成したため、本年1月9日製造関連の責任者として赴任し約9ヶ月です。

工場はインディアナポリスから車で約30分程度ですが、あたり一面広大なトウモロコシ畑で、高い山がないこともあって工場の屋上から見ると360度地平線が見えます。NYやLAといった大都会とは違って自然が多く、私にとっては非常に住みやすい地域です。

ただ、冬は厳しく、赴任した1月は気温が-20度以下、路面凍結で工場閉鎖等もありました。以前のカナダ駐在でも厳冬期はあったのですが、今回は単身赴任ですのでより寒さがこたえたかも知れません。でも、4月頃から徐々に暖かくなり快適です。

一昨年還暦を迎えましたが、この工場の生産レイアウト

トや設備の大半を私が決めたもので、この工場が何とか軌道に乗るまでが、私の最後の仕事と考えております。取りあえずは任期2年の予定ですので、大阪へ帰りましたら、またよろしくをお願いします。



(Premium Composite Technology)

会員だより②

ご無沙汰しています

片山 雅子



今年もキャンプを無事に終えられ、本当にお疲れさまでした。今回は何もお手伝いすることができず、申し訳なく思っております。

私は姓も戻して、人生の再スタートをきり、もうすぐ一年。

現在、アクティブライフ豊中という有料の老人ホームの介護スタッフをしています。何しろ遅い再スタートでしたので、仕事についていだけで精一杯の日々ですが、職場の若い仲間たちに支えられ、何とか頑張っています。

私が配属されたところにおられるのは、ほとんどが認知症の方で、被害妄想・せん妄・夜間徘徊、感情のコントロールができないため、抓られたりひっかかれたりとは最初は戸惑うことばかりで、抓られた後の青アザを見ながら、「続けられるだろうか…」と思ったものでした。しかし日々一緒に過ごすうち、その人たちがこれまで生きてこられた人生を知ることで、情愛もわき、今では叩かれそうになったとき、タイミング良く避けることもとても上手になりました。

そして、作中に声を出して笑うことも多くなりました。お一人だけ、認知ではない入居者が方がいらっしやるのですが、先日その方から「その笑い声に私は救われるわ…」と、嬉しいことも言ってもらえるようになりました。

今後は介護の現場で実績を積み、介護福祉士、社会福祉士、ケア・マネージャの資格を取ることが当面の目標です。でも受験するときには、もう60歳の定年間近ということになりそうですけどね。まあ、頑張ろうと思っています。(かたつむり21常任幹事)

メールアドレス登録等のお願い

かたつむり21では、会員の皆さんにメーリングリスト方式により情報を提供しています。PCのメールアドレス(携帯も可)をお持ちの方は、是非ご登録ください。

また、アドレスや住所、電話番号を変更された場合は、事務局まで、FAXまたはメールにてご連絡ください。

SG創立45周年記念

2011 能勢オータムキャンプのお知らせ

幻の“能勢パラ”いよいよ復活!!!



今回はSG創立45周年（厳密には46年）記念と位置づけて開催します。

幻の「能勢パラ」って何？ 酒池肉林の「能勢パラダイス」ではありません。ましてや「パラボラアンテナ」や「パラグライダー」とも違います。詳細は、案内状をご覧ください。

- ・と き：2011年11月5日(土) 午後1時(集合)～6日(日)午後5時(解散)
- ・ところ：能勢ダイヘンキャンプ場 電話：0727-37-0080
- ・集合・解散：ホテル阪急インターナショナル1階正面玄関(車寄せ前)
- ・参加費：社会人/3,500円 学生以下/無料
- ・申し込み：案内状添付の返信用はがき、事務局宛のFAX・メールでご連絡ください

どなたでも参加できますので、お知り合いの方も誘って大勢参加してください。

SG創立45周年記念事業について

黒川 芳朝 (かたつむり21会長)

SGは、既に昨年9月に創立45周年を迎えました。このため、本年4月に「SG活動45年～過去・現在・未来～」とともに喜びともに感謝する集い(仮称)の開催を予定しておりました。しかしながら、3月に東日本大震災があり、未曾有の災害をもたらしたこともあり、秋に延期しましたが、行事日程の都合もあり、「集い」単独の開催は難しく、今年のオータムキャンプを「SG創立45周年記念」と銘打って開催することになりました。

また、今回の大震災により被災された障害者への支援活動を行っている「被災地障がい者センターいわて」に、本年5月、かたつむり基金から些少ですが、5万円を寄付させて頂きました。

SGの活動報告・今後の予定

ここ数年、SGサマーキャンプは、リーダー不足に悩まされておりましたが、本年は、SG・かたつむり21の総力を結集して取り組みました。その結果、22名もの新人リーダーの参加があり、無事、成功裏に終えました。

また、S・M・C活動は、本年4月以降3回実施しました。昨年は6回。今年は7回が目標です。

- ◆ 第2回S・M・C：4月17日(日)
鶴見緑地公園にて「お花見」と「お茶会」
参加 障害児・者7名、SG8名、本会2名、付添4名
- ◆ 第3回S・M・C：5月22日(日)
舞洲スポーツアイランドにて「バーベキュー大会」
参加 障害児・者8名、SG12名、本会2名、付添5名

- ◆ 第4回S・M・C：6月19日(日)
「海遊館ツアー」
参加 障害児・者9名、SG17名、本会2名、付添3名
- ◆ サマーキャンプ：8月26日(金)～28日(土) 《別記》
- ◆ サマーキャンプ思いで会：10月2日(日)
長居障害者スポーツセンター会議室
参加 キャンパー11名、リーダー・スタッフ26名

サービスクループの今後の活動予定

- ◆ 10月29日(土) 第5回S・M・C
 - ◆ 11月 第6回S・M・C
 - ◆ 12月 第7回S・M・C
 - 毎週土曜日午後7時から委員会ミーティング
- かたつむり21の皆さん、時間に余裕のある方は、是非覗いてみてください。場所：長堀事務所
詳細は、事務局までお問い合わせください。



編集後記

「〇〇テーマで△△字程度の原稿を書いてくれないか」というメールや電話を受け取って、頭を悩まされた方が多くおられたことと思います。発足以来11年間で、延べ240名以上の方々から原稿をお寄せ頂き、今回で第23号の機関誌を発行することができました。すごいですね。皆さまのおかげです。これからも引き続き30号・40号と発行出来るようご協力をお願いいたします。

(松木 彰造)